

Jam Message '80  
 ジャム・メッセージ

# PEOPLE

ニューフェイス&ニューボイス  
 ニューキャラクター

## 織田晃之祐

### パノラマ&アイディアがいつぱいの音のパノラマミュージック・エフェクト

でもボコボコいうだけで、風の音らしくならないんです」

NHK放送センターには、世界中から集めた音のライブラリーがある。

「らくだのアクビから象のオナラまで、ありとあらゆる音がそろっていますよ」

それでもなお、効果音としては昔ながらの擬音も使われる。現実にはあり得ない音、録音不可能な音、自然音よりもリアリティのある人工音を作るわけだ。

パカパカ走る馬のひづめの音をオワンで作ることが音響効果の原点なのであり、これはあくまでも人間の技と感覚に頼るしかないのである。

「たとえば、こんなものでもね」といって織田さんがポケットから取り出したのは、親指ほどの小道具、金属の芯をひねって木製の輪をこすると、ピッピッピ「これは〇〇の声」、キュッキュ「これは××の声」と、意のままに、さまざま小鳥の鳴き声が出る。それが本物より本物らしく聞こえるから驚き。音の手法である。

「ボード・ユールっていう、アメリカで鳥寄せに使われている道具だね、もとは北欧あたりで考えられたものじゃないかな。50年前にわれわれの大先輩がどこから手に入れたものが1個だけありまして、もうすり減って使えなくなってきた。それ以来、われわれにとっては幻の道具だったんですよ」

その大先輩というのが、日本の音響効果のパイオニア、岩淵東洋男という人。

「ハワイ・マレー沖海戦（昭和16年）」とい

う映画があるでしょ、あれで飛行機のキーンという急降下音を作ったのが岩淵さんなんですよ。どうやってあんな音を作ったのか、みんな不思議がってね、いまだに語り草になっていますよ。戦後作られた記録映画に使われた急降下音は、みんなあの映画の音を流用してるんです」

「ハワイ・マレー沖海戦」は、円谷英二が特撮監督をつとめ、戦後の東宝特撮映画の基礎を築いた作品である。同じ特殊効果でも、撮影は目に見えるけれど音は見えない。それだけに作るのも難しく、ナゾも多い。「仲間同士でも絶対にネタは明かしません」

んね。ぼくは岩淵さんから急降下音の作り方を教えてもらったけれど、たぶんそれもウソでしょう。効果マンというのは、みんなウソつきですからね(笑)」

急降下音のように織田さんが作った独自の擬音はありますか。

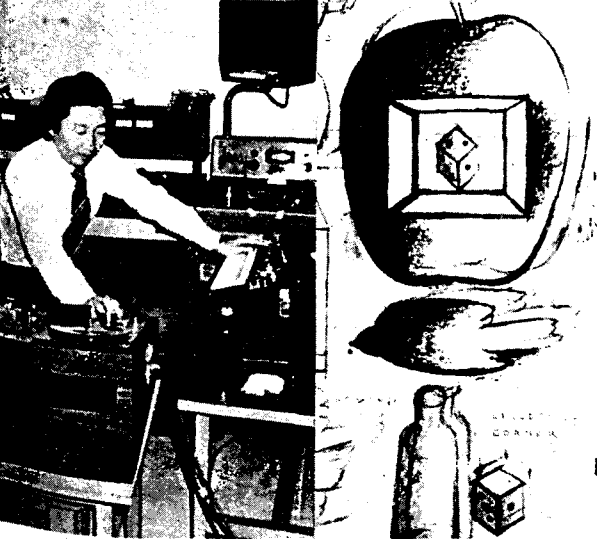
「ジャンボ・ジェット」の着陸音。車輪が滑走路をこする音ですね。リノリウム製の床に水をまきましてね、その上で木の風呂桶をこする。それだけでは迫力ないからテープ速度を変えるんです。先輩がね、あの音どうやって作ったんですか。って聞きにきたから、今いったように教えてあげたけど、彼らがやってもうまく音が出ない。そりや、やり方がまずいんだよって。ほんとは、ぼくの教えたのは全部ウソ(笑)。効果マンは、そうやって遊ぶのが好きなんです。子供っぽいところがあるんですね」

効果部は、NHKの中でも最もユニークな集団だそう。

「効果マンには、昔から名物男が多いですね。和田誠のお父さんも効果マンだったん

音響効果。英語でサウンド・エフェクト。舞台、放送、映画などで使われる音を効果音と呼び、その効果音を扱うのが音響効果マンの仕事。22年間も放送の裏方として音作りにたずさわってきたNHK効果部の織田晃之祐さんが、このほど効果マンとしては初めてという自作のレコードを出した。「舞台上いえば、奈落の底の仕事ですからね、ようやくそこからはい出しつつあるというわけですね」

レコードのタイトルは「ミュージック・エフェクト（ポリドール）。T.V.ドキュメンタリー「NHK特集」のために作った音を、1枚のLPにまとめたものだ。大氷河の崩壊する音、狼の遠吠え、5つ子との対話、アマゾン川が逆流するポロロッカという不思議な現象をとらえた音などの自然音と、織田さん自作自演によるシンセサイザーのメロディが織りなす音のパノラマ。シンセサイザーで作られた擬音もまじっている。「たとえば、風の音なんかはマイクで録音し



惟気あふれる織田さんのイラスト

バラエティ 1980. 5月号

# EDISON エジソン

## ニコンニコしながらミュージック・シーンの革命を担う ニューサウンド・グループ・リーダー

ですよ。いろんな人がいますねえ」  
子供っぽいイタズラが好きで織田さんは  
テレ屋でもある。シンセイサイザーは密室で  
演奏録音し、口笛も人前で吹くのは恥ずか  
しいという。口笛もシンセイサイザーも、プ  
ロ顔負けの腕だが、どちらにも我流。芸大の  
デザイン科志望だった織田さんは、ミキシ  
ングに絵と同じコンポジションが役立つとい  
るといふ。音は時間の泡であり、音響効果は  
時間のデザインである、というのが持論だ。

「シンセイサイザーってのは、基本的に1度  
に1音しか出せない構造なんです。指1本  
で弾けるから、ばくみみたいに音楽を学んで  
ない人間にも使えるわけです」  
チャップリンと同じ作曲法なのである。  
「口笛は最も肉声に近い楽器です。ね  
「そうですね。シンセイサイザーの音は冷た  
いともいわれるけど、弾く人によって音色  
が変わるんです。だからばくは、口笛の音、  
人間の肌あいに近づけたいと思うんです。

人間の感性に響かない音は、雑音でしかあ  
りませんからね」  
シンセイサイザーの音源は、ピッピッポー  
ンという時報に使われている、真空管の発  
振音なのだそうです。ミュージック・エフェク  
トという造語には、オワンの進化した効果  
装置としてのシンセイサイザーに、口笛のあ  
たかさを吹きこもうとする織田さんのハ  
ートとアイデアがこめられている。  
「NHK特集」を見た子供たちから、織田

さんのところへファンレターがくる。テー  
プを送って下さいという子供たちもいる。  
そうした希望に応えることも「ミュージック  
・エフェクト」を出した目的のひとつだそ  
うだ。このLPの中の1曲は、ある盲学校  
の盲人用信号機に使われている。  
「日本中の信号機からばくの作ったメロデ  
イが流れて、聞く人の記憶に残り、音が広  
がっていったら、それはすばらしいことす  
よねえ」

変わった名前だ。

「発明少年だったんで  
すよ。ちよつとしたア  
イディアからいろんな  
ものを完成させるのが  
好きだった。新しいもの  
好きの家系でね、わが  
祖父はまだ日本にオー  
トバイが数台しかない  
ころ乗り回したり、軽  
電機を集めたり、売つ  
たり、レコードなんか  
も近所に何もないうら  
から集めてた。だから  
電気に縁が深くなって  
オヤジは電気屋です、レコードも売ってま  
した。僕が大人になるころ、いろいろ考え  
たことの中に、人間は他の人のために何が  
出来るんだらうか、なんてことがあった。こ  
ろ単純にエジソンって実に凄い奴じやなか  
ったかと思ってたわけ。彼が電気を生みだ  
したことによって社会はまるで変わったわ  
けでしょう、革命的にね。音も残るように  
なったしね。音楽というところについてい  
えば、彼の存在なくして、今の音楽って考え  
られないわけだ。それを僕がひき継いでや  
られて。電気と縁が深い人間なことだし。  
ごく単純に、名前載せましょうって」  
エジソン教なんですと笑う。家がレコ  
ードを扱ってたこともあって小さい時から



音楽には浸りつきりつばなした。何で  
も手に入ったから特に好みを集めるという  
のではなかったが、50年代、60年代ジャズを  
よく聞いた。実際の音楽世界に首を突っこ  
んだのは音楽集団「迷宮世界」に加わって

のソウル・パーティーに出演したんです。大き  
なパーティーで、夜の7時から朝の3時まで  
やる。盛りあがっていたパーティーで、1時間  
延ばして4時までやった。しかし、4時ごろ  
になるとわれわれはへばつちやうんです。  
踊ってる黒人たちは6時頃から来て踊って  
るんだけど全然へたつてない、もつとやろ  
うっていうの。もうやつてられないよって  
うんで電源全部抜いて、われわれはやめた  
んです。ところが連中は手拍子だけで踊り  
だしたの。足打ってガンガン踊ってやがる。  
なんだオレたちは、とガツクリきちやつて  
ね。それまでは、連中はいい音だとか何と  
かホメてくれたりしてただんだけど、われ  
れの音楽とは関係なくやつてる。愕然とし  
ちやつて、それは血の遠いなんだろうけど、  
やめた、2度とこいつらのために演奏する  
のはやめようと思つた。でもキツかったな」  
それからは、自分のオリジナルなもので  
というふうにかーブしてゆく。ジャズの個  
人プレイを中心としたクールな集団は肌  
合わなかった。アンサンブルの利いたロッ  
ク・バンドを始める。そしてスタジオ・ミ  
ュージシャンの悲哀をたつぷりとため、ア  
レンジヤーとして活路を見  
出す。井上陽水、中島みゆ  
き、海援隊等のアルバムを  
作り、評価を高めてきた。現  
在は前野曜子のLP作り  
にかかっているのだ(「ハーフ

タイム(仮題)5月25日ころ発売)。「曜子の  
大人つばさをちゃんと出そうとね。彼女の  
場合は「別れの朝」の後、プランクがあつて、  
「蘇える金狼」でカムバックしたけど、「蘇え  
る金狼」のヒットは復活へのサインであつ  
て、完全な復活じゃないと思うのね。彼女  
の人生の経緯を含んだ大人の味をきちつと  
出してやらないと、またそれでないとする  
かいないし」  
前野曜子にいわせるとニコンニコと優しい  
顔をしながらギリギリのところまで追いこ  
んでくる人という。「いや、そんなに難しく  
はしていないよ、ちよつとだけ新しくちよ  
つとだけリードしているもので……」  
エジソンを名乗るのだからかなり実験的  
なサウンドはたえず追っかけている。ただ  
現実の仕事につなげると、ちよつとずつミュ  
ージック・シーンをリードしていつて、その果  
てに自分のシーンに引きこんでやろうとい  
う魂胆なのだ。和製エジソンの世界はゆっ  
くりと確実に見えてくる  
仕掛けで

エジソンを名乗るのだからかなり実験的  
なサウンドはたえず追っかけている。ただ  
現実の仕事につなげると、ちよつとずつミュ  
ージック・シーンをリードしていつて、その果  
てに自分のシーンに引きこんでやろうとい  
う魂胆なのだ。和製エジソンの世界はゆっ  
くりと確実に見えてくる  
仕掛けで

